

1. 目的

多変量解析等の手法でアンケート結果を解析し、得られた基準に基づいていくつかのグループに分類することは多く報告されている。ところが次に新しい被験者をいずれかのグループに分類しようとする、すべての基準にあてはまる被験者はなく、得られたグループ分類に実用的な意味を与えることが出来ない。本研究は新しい被験者が、ライフスタイル分類のどのグループに所属するかの判定方法を提案するものである。

2. 方法

2.1 ライフスタイル分類: 144名の女子大生に、趣味行動(14項目)、情報行動(11項目)、消費行動(15項目)のアンケート調査を行う。数量化Ⅲ類で得たサンプルスコアを用いてクラスター分析を行い、7グループに分類する。

2.2 所属判定: 新しい被験者が、3質問のどの組合せを回答してもいずれかのグループに当てはまるように、7ステップの手順で7グループと回答を関係づけた。

3. 結果

3.1 上記の方法で144名の所属判定を行ったところ、2.1で分類されたグループと一致することを見いだした。

3.2 27とおりの組合せの回答になる新被験者をシミュレートし、所属判定を行ったところ、妥当なグループに所属することを見いだした。